

平成29年度保護者懇談会講演 1

本学の教育について

須河内 貢
(すこうち みつぐ)

【建学の精神】

敬

信

愛

人を敬い

人を信じ

人を愛する

人から敬われ

人から信じられ

人から愛される

【教育理念】

自立と共生の心の育成

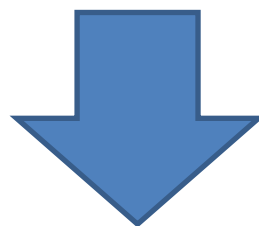
【教育目標】

社会で活躍しうる、人間性豊かな幅広い知識を持った対人援助の専門職業人の育成を使命として、実践的な専門知識・技術のみならず、課題解決能力やコミュニケーション能力など、社会人としての基礎力を兼ね備えた人材を育成する

★大学丸ごと

「対人援助の専門職業人」養成校

(福祉、医療、教育と多領域をカバー)



「他職種連携」「チーム支援」
が学べる

★しっかりと学習することが求められる大学

- 出席管理システムの導入（保護者の方も閲覧可）
- 授業は全回出席が基本
2/3以上の出席が評価の前提条件となる授業もある
- 学修ポートフォリオの導入
※学修ポートフォリオとは、学習者の学修記録をまとめたもの
- 授業以外での学修を進める課題
- 全科目のシラバスを整備（保護者の方も閲覧可）

※シラバスとは授業の到達目標、概要、評価方法、留意事項、各回の学修内容等を記した授業計画。これにしたがって授業は進められる。

《対人援助の専門職業人として問われること》

資格・免許

+

どのような特徴を持つ
専門職業人なのか

⇒学生時代に、人格特性も含めて、

何をどの程度学んだのか、どんな人となったのか

⇒一般企業においても汎用可能な力

本学は

- 建学の精神「敬 信 愛」に基づき、社会で活躍しうる、人間性豊かな幅広い知識を持った対人援助の専門職業人を育成する、という独自性をもつ大学
- しっかりと学ぶことが求められるが、成長を実感し、結果を得られる大学

★学生に対する教員の支援

- ①共に学ぶ
- ②よき学習者モデルとなる

学習＝学習者の主体的活動によって
生じるもの(教わって生じる
ものではない)

巻 頭 言

研究報告第1号を刊行するにあたって

薫英女子短期大学は、本年4月開学されたばかりで、すべてがこれからという第一歩である。

随分沢山の大学が林立する中では、足元の野菊のようなその存在さえも認められないものかも知れない。しかし、薫英は今突如として地上に芽を出したのではない。35年培われた薫英学園の女子教育に対する抱負と信念は、現代社会の如何なる風潮にも感わされない。正しく強い一貫した基盤に立っている。こうして新しく開学した短大も、精神的には相当長い年月をかけて現実として現われたものである。

たとえ規模は小さく、学生数は少くとも、その1人1人を珠玉の如く輝くものに育てよう。これが本学の開学に対して共鳴し、力を合わせて下さった教授の真剣な祈りでもある。見事な花を咲かせようとするれば、まず根を張り、土をこやすこと。第1年のその第1日から、教授は学生と共に学者としての研究も怠りなく研さんして下さった。足りない施設の中で、僅な時を惜しんでまとめ上げられたものが、第1号のこの研究報告である。

勿論、これもまた本学としては最初の発表であり、決して執筆者自身も満足された内容ではないと思うけれども、開学第1年目から研究発表の機会を持ち得たそのことに対し、私は教授の心意気に大きな敬意を表し、今後のたゆまぬ歩みに期待をかけ、大先輩の先生方の御批判を仰ぐことができれば非常な喜びである。

現代の大学は教育不在などの酷評をする人もあり、一面そうした欠陥を認めないわけにいかない現象も起ってはいるが、2ヶ年という短期の大学に於いて、学生に研究への意欲と、実質的な有能人、更に豊かな人間性を教育することは不可能に近い贅沢な希望であろう。但し、敢えて本学に於いてはそれを可能ならしめようと、教授、学生共々に高い理想を目標に第一歩を着実に油断なく踏みしめている。

薫英女子短期大学の前途に、よき先輩としての御指導を切にお願いして、ささやかなこの論文集を世に送る次第である。

昭和41年10月1日

薫英女子短期大学
学長 小川 静 枝

★学生支援センター

支援員、相談員、「SA（スチューデント・アシスタント）」（先輩学生）が、学習面をはじめ、様々な学生生活をサポートしている

★担任制

1年次からFAというクラス制をとっている。
FA教員、あるいは、ゼミ担当教員（3年次から）が担任として、個別に学生生活全般をサポートしている

《学生に求める2つのこと：その1》

「なりたい自分像・生き方」を目標として
学んでほしい（志をもって学ぶ）

⇒資格や免許取得を目指して学んでいく
わけだが、あくまでも、目標は「なり
たい自分の姿」。

例えば、「こんな理学療法士になり、こう
した生き方をしたい」、「こんな言語聴覚
士になり、こんな生き方をしたい」

《学生に求める2つのこと：その2》

人とのかかわりあいを大事にした学び

⇒人間は、他者との会話によって学習していくことが、大変優れている。友人と、教員と、自分の専門とする学習内容の話をすることによって、効果的に学習していくことができる

★社会貢献活動の活用

ボランティア活動の経験が学習を支えてくれる。人間は抽象的な内容を学習していくことは苦手なのだが、体験に基づく学習は優れている。

※社会貢献活動：大学が学生さんたちのボランティア活動を支援していこうとする活動

- ユニバーサルパスポートが閲覧できるようになりました
- 本システムや本学ホームページを活用し、学生生活をご覧いただきながら、成長を見守っていただきたい

学生さんが
自らの成長を実感でき、
目標達成へ向けて笑顔で躍動していける、
そんな大学を目指し、
進化し続ける所存でございます。

どうぞこれまで以上に、
本学の教育活動にご理解とご協力を
お願い申し上げます